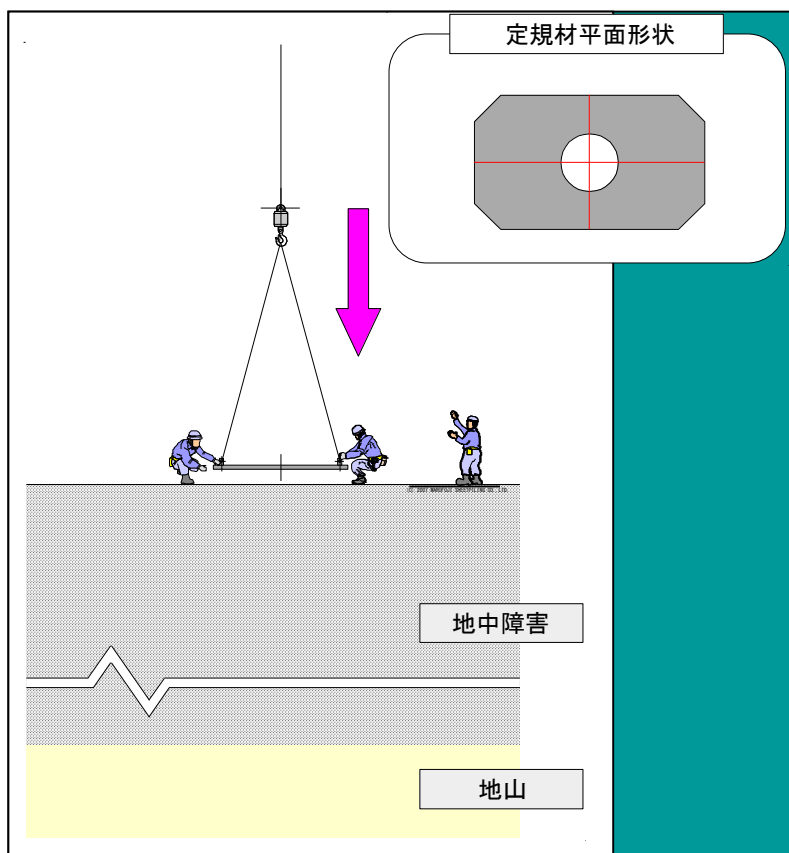
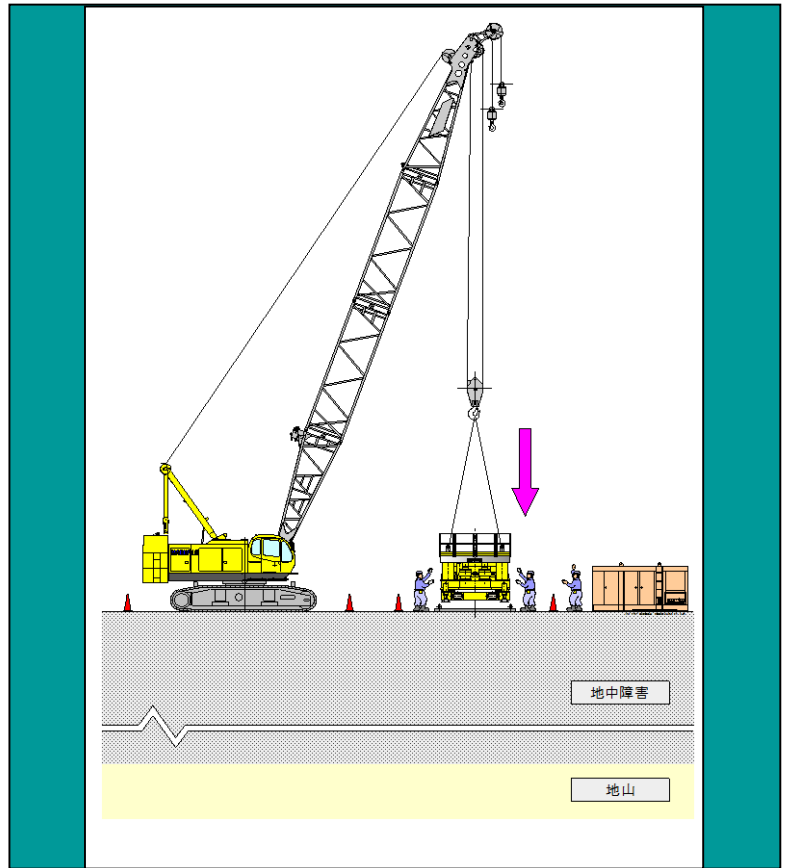


1. 据付鉄板敷（定規兼用）
2. 掘削機据付
3. ケーシングチューブ建込
4. 回転圧入・切削
5. ハンマーグラブにて障害除去
6. ケーシングジョイント
7. 所定深度障害物除去確認
8. 埋め戻し
流動化処理土打設
9. ケーシングチューブ引抜



5'×10'の鉄板を敷き、
その上に定規材をセット
する

1. 据付鉄板敷（定規兼用）
2. 掘削機据付
3. ケーシングチューブ建込
4. 回転圧入・切削
5. ハンマーグラブにて障害除去
6. ケーシングジョイント
7. 所定深度障害物除去確認
8. 埋め戻し
流動化処理土打設
9. ケーシングチューブ引抜

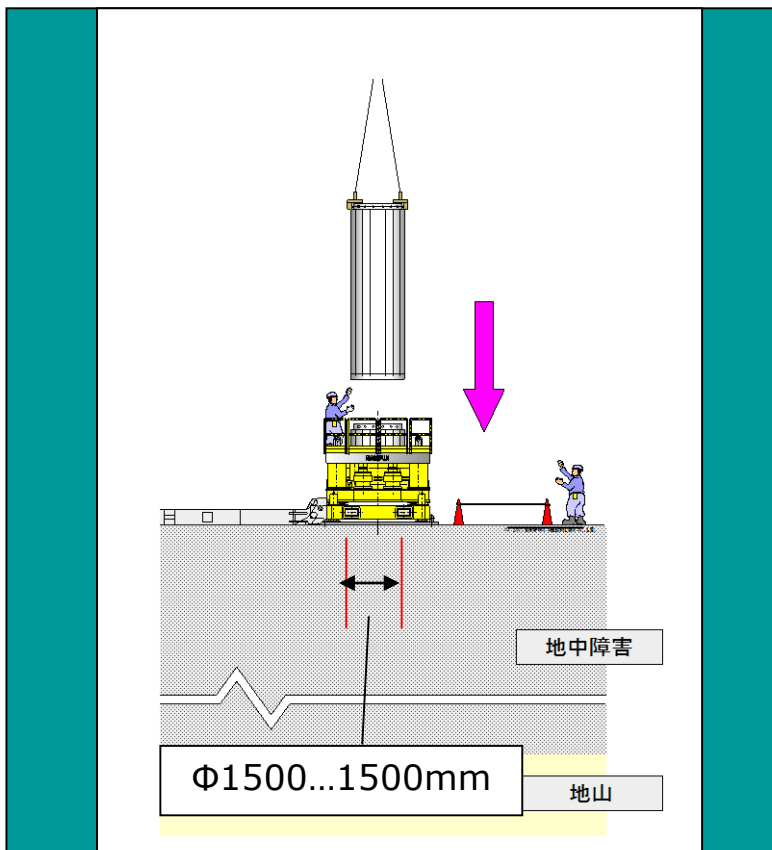


油圧シリンダー4個装備。
上部ステージが上下する。
本体と境界との離隔に注意。



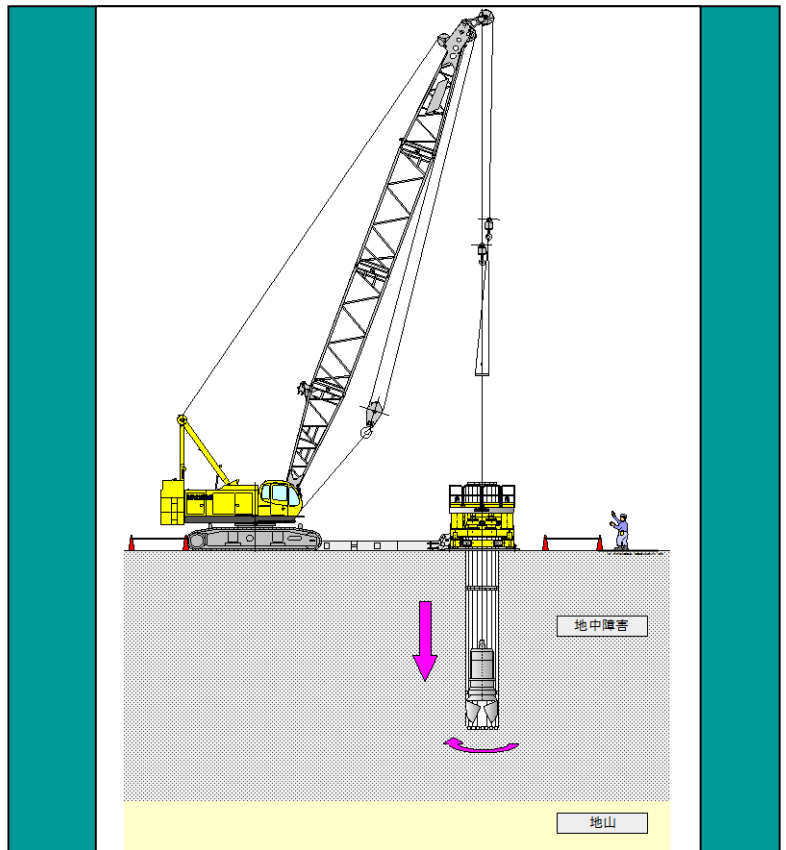
5-3 CD施工要領

1. 据付鉄板敷（定規兼用）
2. 掘削機据付
3. ケーシングチューブ建込
4. 回転圧入・切削
5. ハンマーグラブにて障害除去
6. ケーシングジョイント
7. 所定深度障害物除去確認
8. 埋め戻し
流動化処理土打設
9. ケーシングチューブ引抜



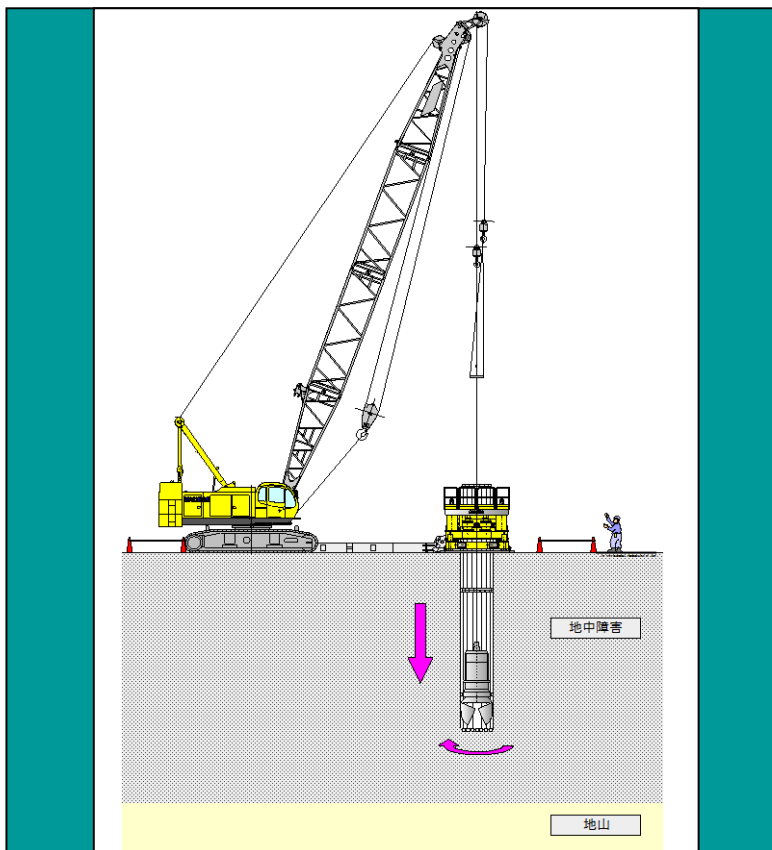
ケーシングチューブを建込む
自転防止反力棒をセット、
クレーンで固定する。
(下げ振りで確認)

1. 据付鉄板敷（定規兼用）
2. 掘削機据付
3. ケーシングチューブ建込
4. 回転圧入・切削
5. ハンマーグラブにて障害除去
6. ケーシングジョイント
7. 所定深度障害物除去確認
8. 埋め戻し
流動化処理土打設
9. ケーシングチューブ引抜



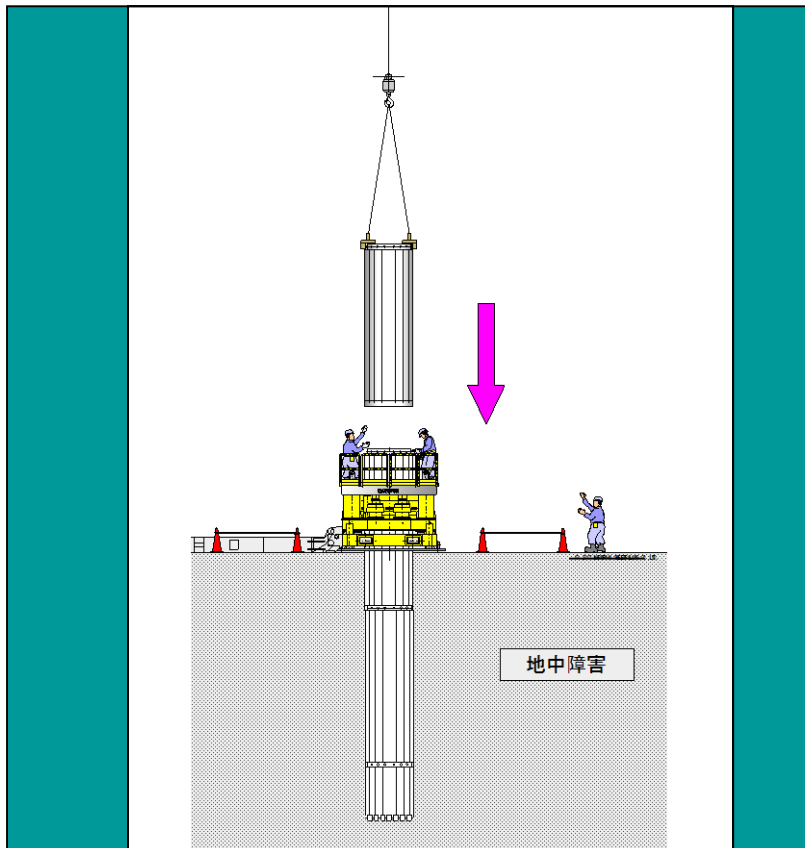
ハンマーグラブは、クレーンの自由落下（フリーフォール）となる。

1. 据付鉄板敷（定規兼用）
2. 掘削機据付
3. ケーシングチューブ建込
4. 回転圧入・切削
5. **ハンマーグラブにて障害除去**
6. ケーシングジョイント
7. 所定深度障害物除去確認
8. 埋め戻し
流動化処理土打設
9. ケーシングチューブ引抜



大ガラはケーシングから出す前に
ハンマーグラブとの掛かりを確認する。
（旋回中の落下がないように注意すると同時に絶対に吊荷の下に入らない）

1. 据付鉄板敷（定規兼用）
2. 掘削機据付
3. ケーシングチューブ建込
4. 回転圧入・切削
5. ハンマーグラブにて障害除去
6. ケーシングジョイント
7. 所定深度障害物除去確認
8. 埋め戻し
流動化処理土打設
9. ケーシングチューブ引抜

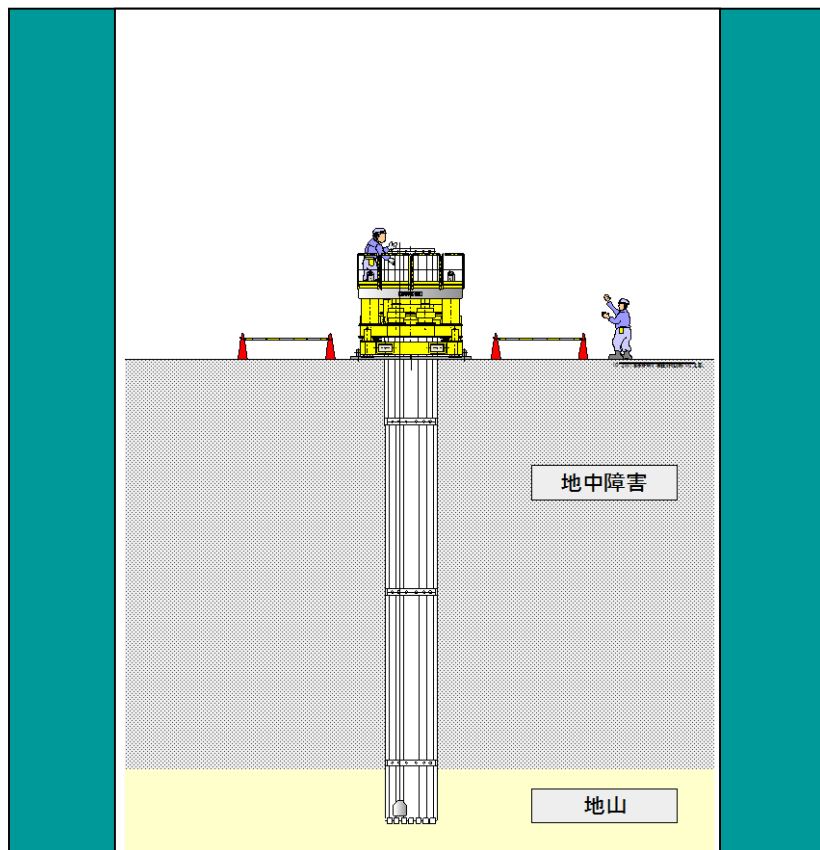


高所作業となるので上部ステージ上から地上面、ケーシング内への墜落に注意する。



5-3 CD施工要領

1. 据付鉄板敷（定規兼用）
2. 掘削機据付
3. ケーシングチューブ建込
4. 回転圧入・切削
5. ハンマーグラブにて障害除去
6. ケーシングジョイント
7. 所定深度障害物除去確認
8. 埋め戻し
流動化処理土打設
9. ケーシングチューブ引抜

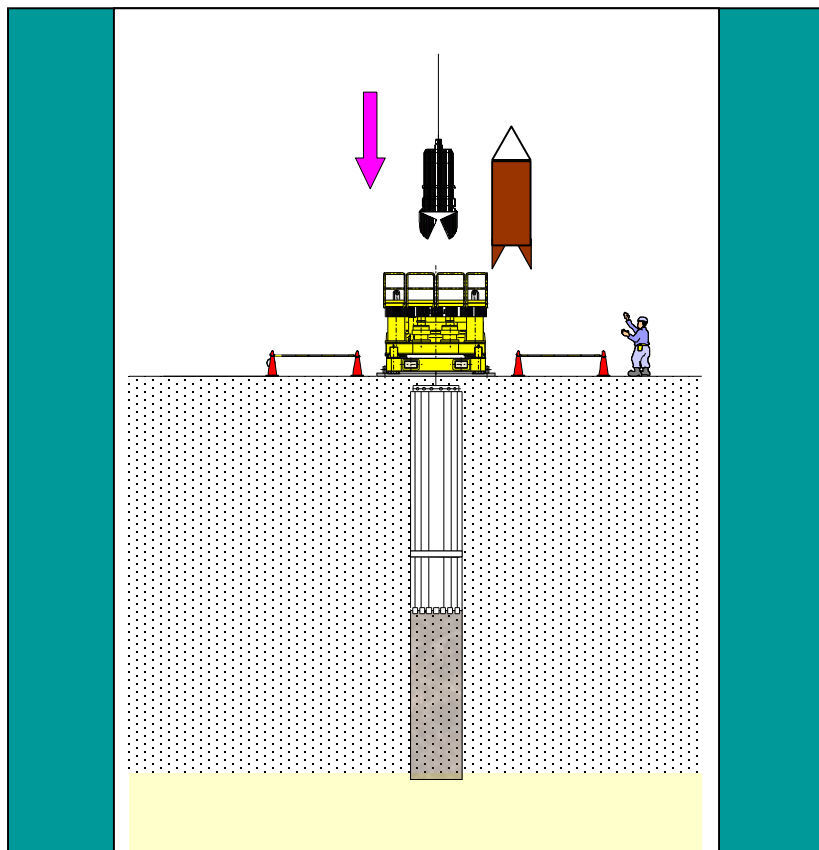


検尺ロープを用い
掘削深さを確認

Φ1500 GL-12.75m
まで撤去

【埋め戻しの場合】

1. 据付鉄板敷（定規兼用）
2. 掘削機据付
3. ケーシングチューブ建込
4. 回転圧入・切削
5. ハンマーグラブにて障害除去
6. ケーシングジョイント
7. 所定深度障害物除去確認
8. 埋め戻し
流動化処理土打設
9. ケーシングチューブ引抜



ハンマーグラブ、埋戻し用バケット、ハックホーにて埋戻し。
新設杭干渉部は流動化処理土をバキューム車にて打設する。



5-3 CD施工要領

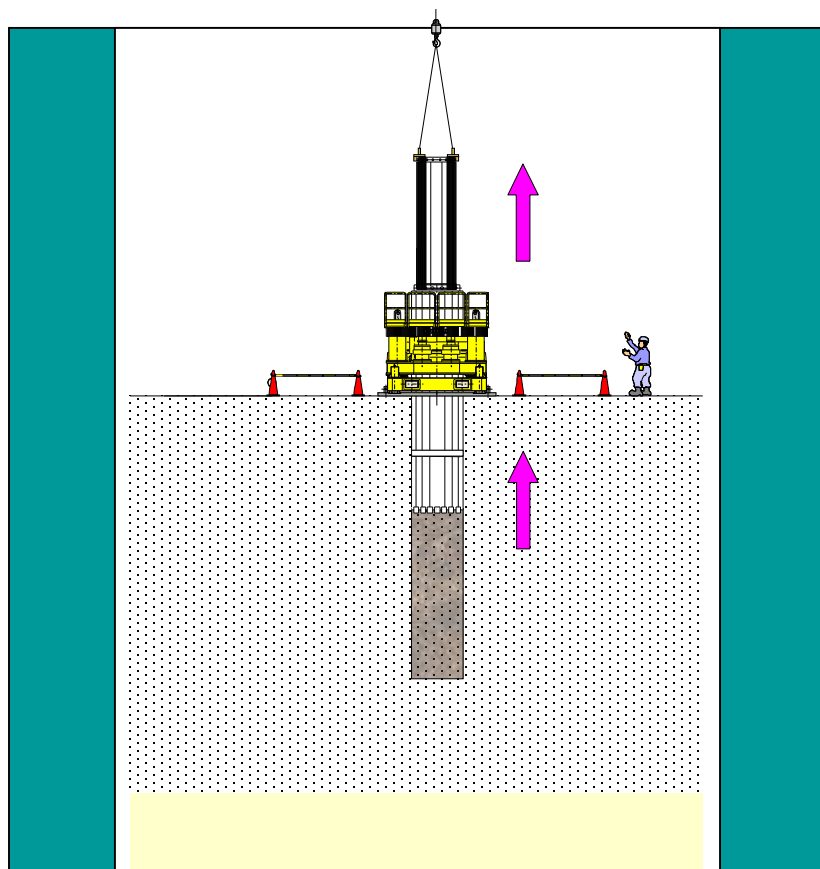
【流動化処理土打設の場合】

1. 据付鉄板敷（定規兼用）
2. 掘削機据付
3. ケーシングチューブ建込
4. 回転圧入・切削
5. ハンマーグラブにて障害除去
6. ケーシングジョイント
7. 所定深度障害物除去確認
8. 埋め戻し
流動化処理土打設
9. ケーシングチューブ引抜



トリー管セット後、流動化処理土を圧送ポンプにて打設する。

1. 据付鉄板敷（定規兼用）
2. 掘削機据付
3. ケーシングチューブ建込
4. 回転圧入・切削
5. ハンマーグラブにて障害除去
6. ケーシングジョイント
7. 所定深度障害物除去確認
8. 埋め戻し
流動化処理土打設
9. ケーシングチューブ引抜



ケーシングに玉掛けし、
引き上げてから
ジョイントを外す